

EXフィルターの掃除方法

1. フィルター掃除について

フィルター掃除と、容器内の水替え・清掃は定期的に行ってください。

下記のような症状が出ている時はフィルターの汚れ・目詰まりが疑われます。放置すると危険ですので、すぐに電源を切りフィルター清掃を行ってください。

- ⚠ ポンプの汲み揚げの水量が落ちた
- ⚠ モーターが回っている音があるのに、水が出ていない

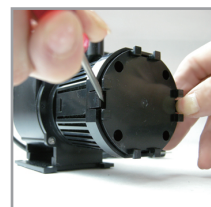
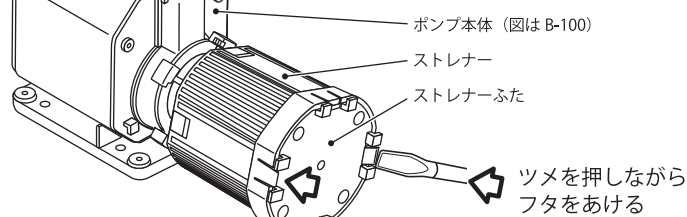
2. フィルター掃除の手順

スポンジフィルターを取り出す

マイナスドライバーの先端などで、ストレーナー蓋の左右のツメを押しながら蓋をあけます。

内部のスポンジフィルターと、コイル・スプリングを取り出します。

図1 スポンジフィルターの取り出し方



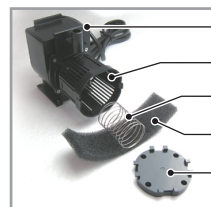
左右のツメを押しながらフタははずす



フタを外すと中にろ材(スポンジ)とコイル・スプリングが見える



スポンジフィルターとコイル・スプリングを取り出す



完了。

ポンプ本体 (写真は M6SP)
ストレーナー
コイル・スプリング
スポンジフィルター
ストレーナーふた

- ⚠ ポンプを水中から取り出す際は、必ず電源を切ってから作業を行ってください。
- ⚠ フタを固定しているストレーナー左右のツメは無理に広げると破損する場合があります。

ストレーナー、フィルターを洗う

取り出したスポンジフィルター、コイル・スプリングは、水またはぬるま湯で軽くもみ洗いをしてください。細かい部分はブラシやめん棒を使って掃除します。最後に、スポンジフィルターやストレーナーに目詰まりがないことを確かめます。



スポンジフィルターは、やさしくもみ洗います。



細かいところは歯ブラシや麺棒などを使ってやさしく汚れを取り除きます。

- ⚠ ポンプ本体、フィルター、その他部品のお手入れの際には、合成洗剤、石油系洗剤を決して使用しないでください。(樹脂を痛めます)

ストレーナーごとポンプから取り外す場合

B-100とEXフィルターの着脱方法

はずす時

時計回り



ポンプ本体とストレーナーをしっかりと持ち、ストレーナーを持つ側をやや時計回りに力を加えながら左右に引く。



EX ストレナーがはずれます。
つける時
装着する際は、ストレーナーに吸水口を挿入して取り付けます。

B-100のローター掃除をする場合

EX ストレナーを抜く際は反時計回りにひねると、吸込み口・ローター ASSY と抜けます。

反時計回り



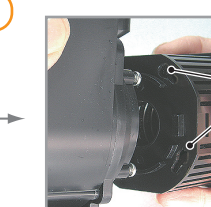
M6SPとEXフィルターの着脱方法

はずす時

反時計回り



M6SP ポンプ本体とストレーナーを両手でしっかりと持ち、反時計回りにひねってから左右に引き抜くと、ストレーナーがはずれます。

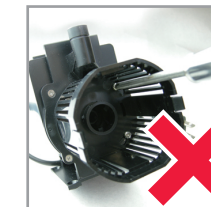


つける時

時計回り

ストレーナーを装着する時は、ストレーナー底部にある4か所のネジ穴の丸い部分にポンプ本体のネジ頭をはめ、時計回りにひねり固定します。

M6SPの注意



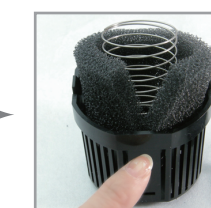
⚠ M6SP のネジはいじらないでください。

フィルターをもどす

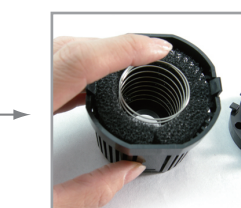
コイル・スプリングのまわりにスポンジフィルターを巻きつけるようにして持ち、ストレーナー内部へセットしフタをします (カチッと音がするところまで)。



コイル・スプリングにフィルター・スポンジを巻きつけるように持ちます。



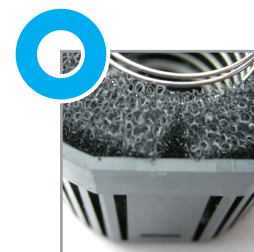
スポンジの継ぎ目がストレーナーの中央にくるように入れます。



スポンジフィルターの下部が開いて隙間があかないように注意しながらストレーナーの奥まで挿入しましょう。



フタをしめて完了。



スポンジの継ぎ目の中央がストレーナーの幅広の面に合わせましょう。



スポンジの継ぎ目がずれているとスポンジの隙間から異物が混入するため注意が必要です。

- ⚠ コイル・スプリングなしでスポンジフィルターだけをセットした場合、運転時にスポンジがポンプ内部に吸い込まれるなどの故障の原因になります。コイル・スプリングは必ず戻しましょう。